

グループディスカッション ワークシート

グループ名: D

【テーマ】「当事者が安心して生活を送るためのつながりづくり
～「つながる」ために課題となっていることを挙げ、
その具体的な取り組みについて、多様な視点で語り合おう～」

ワーク１：「つながる」ために課題となっていることを挙げよう。

現在、地域の中でどのような「つながり」があるか。

- ・福祉と繋がることを希望しているダンススクールの先生がおり、活動して発表会に出る等の繋がりがあある。また、商店街の活性化が進んできており、店が新たに出たり、ダンス発表の場にもなり、地域との交流の場となっている。事業所のゴミ拾い活動も始まり、地域との相互交流ができ始めている。
- ・身体地域活動支援センターは市内にない。重度訪問介護事業所は市内ではないため、市内の居場所や繋がりがなく。そもそもの地域からの繋がりがなく転入してきたため、地域で繋がる場がない。日中は就労していると地域と繋がりがづらい。
- ・地域活動支援センターの利用により仲間ができたが繋がりとては市外を希望している。自治会と繋がりはあり、障害者であることを伝えて繋がることも避けられることもある。ボランティア活動での繋がりは気軽なつながりになっている。
- ・事業所が入っているマンションから清掃の依頼があり、訓練もかねて前向きに取り組みを予定していたが、結果的にマンションの総会を経由して断られた。よい形で地域との繋がりを作りたい。
- ・職場以外での繋がりはなく、就労が長く地域での繋がりはないが、今後好きなスポーツを通して地域の繋がりをもちたい。

「つながる」ために課題となっているのは、どのようなことか。

- ・生まれも育ちも武蔵野ではなく、後から転入した新住民にとって親の代や子供の頃からのつながりはなく、繋がりをもちづらい課題がある。
- ・新住民として今の地域での繋がりが薄い。何のために繋がるか？・災害時のため？・そもそも繋がりたいのか・楽しくないと繋がらない。軽い繋がりはあっても名前を認識した上での繋がりに至るか・サービスの繋がりが？人間としての繋がりが？

ワーク 2：具体的な取り組みについて、多様な視点で語り合おう

ワーク 1 を踏まえ、具体的などのような取り組みができるか。

- ・商店街の繋がり今後の発展：「あったかまつりで披露したい」との希望から安藤さんに繋がった。学校の繋がりから（美術の学校）の繋がりもある。興味がある分野からの発展はしやすい。
- ・「何のために繋がるか」はあるがとりあえず繋がっておくことで、次に繋がるきっかけになることはある。思わぬところでよい所がある。
- ・災害の時、自治会の繋がりがあることで安否確認や不安な時の関りに繋がる。声掛けだけでも嬉しいと思えたり、災害時の情報（食べ物を手に入れる手段等）を得る機会にもなった。それ以降自治会の活動に参加するようになっている。顔が見える関係。
- ・簡単なことだが、「挨拶」をすることはなかなかできない。挨拶がないとその人への関心が薄くなるため、挨拶からの繋がり的大事。